

JCI JAPAN TOYP 2020 エントリーシート

氏名*	佐々木 理人
フリガナ*	ササキ リヒト
所属団体*	日光トレイルランニング実行委員会
活動内容* (200 文字以内)	<p>活動の内容を200字でお書きください。</p> <p>日光国立公園マウンテンランニング大会は、「2015年9月台風18号の被害を受けた日光・鬼怒川に元気を取り戻したい」と願う地元の皆さんと日光を愛する若者によって立ち上げたトレイルランニングの大会です。日光東照宮表参道をメイン会場として大会を開催します。走るコースは日光世界遺産、日光国立公園と魅力あるコースになっています。行政や補助金に頼らない運営になっていて、県内外のボランティアの皆さんと一緒に大会を作り上げています。</p>
活動カテゴリー*	<input checked="" type="checkbox"/> ビジネス・経済・起業 <input type="checkbox"/> 学術 <input type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 倫理・環境 <input type="checkbox"/> 青少年育成・世界平和・ <input type="checkbox"/> 人権 人道支援・ボランティア <input type="checkbox"/> 科学技術 <input type="checkbox"/> 自己啓発 <input type="checkbox"/> 政治・法律 <input type="checkbox"/> 医療革新 <input type="checkbox"/> その他()
JCI JAPAN TOYP を どこで知りましたか？*	青年会議所会員からの推薦(青年会議所)・ホームページ・フェイスブック・チラシ・メディア()・その他()
紹介理由 (200 文字以内)	<p>この大会は、一から作り上げたトレイルランニング大会です。実行委員長の佐々木を中心に試行錯誤を繰り返しながら2016年に第1回を開催し今年で第5回目を迎えます。大会の魅力は、「世界遺産や国立公園内を走れる」ということです。日光東照宮表参道をメイン会場にし、日光の大自然に触れながら駆け抜けるコースはトレイルランニング業界でも注目を集めています。今後、日光の新たな魅力を発信してエコツーリズムの取り組みや地域資源の更なる活用が期待されます。</p>

顔写真*



経歴
(200 文字以内)

2008年・・・明治大学経営学部入学
2012年・・・明治大学山岳部カナダマッキンリー登頂 山岳部長として参加
2014年・・・栃木県山岳会 K2登山に参加
GOLDWIN 勤務
2016年・・・Physis LLC 代表
第1回日光国立公園マウンテンランニング大会開催
2019年・・・第4回日光国立公園マウンテンランニング大会開催

活動PR1*
(200 文字以内)

日光の歴史を感じ、日光の大自然に触れる大会

日光は世界遺産二社一寺を有する歴史と文化に所縁のある地域であり、大会を通じて日光の歴史を多くの人に伝えていきたいという想いから、日光東照宮表参道をメイン会場として大会を開催しています。スタート、ゴールを日光東照宮表参道、表彰式を輪王寺三仏堂前で行います。雄大な大自然を持つ日光国立公園をコース調査と整備を行い、日光の自然を満喫するコースにしています。かつて勝道上人(日光開山の祖)が修験の場としていた山域を使いトレイルランニングの大会を開催することは国内のスポーツイベントでは、類を見ない取り組みになっています。

活動PR2*
(200 文字以内)

眠っていた地域資源の再利用と日光ブランド商品の活用

本大会の魅力は何と言っても、変化に富んだ高低差のある雄大な自然の中を走り抜けるコースの魅力です。日光連山を見渡しながら走ることのできる日光霧降牧場(旧日光霧降牧場跡地を地域方々と整備)、日光市街を見渡せる名物になっている天空回廊(1445段)、300mほど急降下しながら走る日光霧降スキー場(旧日光霧降スキー場跡地)など。4箇所設置しているエイドステーションには、日光名物の水羊羹、湯葉、名物コロッケ、日光たまり漬け等の食材が並びます。入賞者には、日光杉仕様のオリジナルトロフィー、栃木和牛、八潮マス、ひみつ豚等栃木ブランドが提供されます。

<p>活動PR3* (200文字以内)</p>	<p>一から手作り、行政や補助金に頼らない大会運営</p> <p>本大会は、日光を愛する人々そして日光に暮らす地域の皆さんの熱い思いによって立ち上がった大会です。行政からの支援を受けず、国やスポーツ団体からの補助金に頼らない完全なる自主運営で実施されています。第4回大会では、総勢200名のボランティアの皆様にご尽力いただきました。日光市内の中学生や高校生、地域おこし協力隊や自治会等多くの地元の方が参加しています。また、日光の新しい魅力を多くの人に知ってもらいたい願いから、大会ホームページよりボランティアを募集し、関東近郊からも参加していただきました。</p>
<p>SDGsのゴールとターゲット番号及び結びつきの説明</p>	<p>番号の記入(8 働きがいも成長も 8・9 2030年までに、雇用創出、地方の文化振興、・産品販促につながる持続可能な観光業を促進するための政策を立案し実施する。) (15 陸の豊かさを守ろう 15・2 2020年までに、あらゆる種類の森林の持続可能な経営の実施を促進し、森林減少を阻止し、劣化した森林を回復し、世界全体で新規植林を大幅に増加させる。結びつきの説明</p> <p>人口減少・高齢化社会を迎え、地方創生は大きな課題になっている。日光でも、林業の担い手不足から森林保護が懸念されている。そこで、日光世界遺産と日光国立公園を融合させたトレイルランニング大会を実施することで、森林空間の利用、伝統文化・食文化の活性化が起り、地域の新たな雇用と収入機会を生み出すことができます。森林環境事務所の方と走るコースのモニタリングを毎年実施し環境保護に努めています。また、自然の中を走るにより健康志向、自然環境への関心の高まりも期待できます。今後は、地域の植林活動への参加も実施していきます。</p>
<p>■質問事項（全200文字以内厳守）</p>	
<p>質問1* (200文字以内)</p>	<p>活動を始めたきっかけを教えてください</p> <p>2015年9月、台風18号の影響で鬼怒川を中心とした日光市街は多大な被害を受けました。道路の寸断、半壊、浸水した建物。「生まれ育った故郷、自分たちが愛する街に再び元気を取り戻したい。」そのような地域住民の切なる思いが、日光出身の佐々木の心を動かしました。大学登山部に所属し数々の高峰に登頂した経験を持つ登山家という一面を持った佐々木は、自分の持ちうる経験を生かして日光を盛り上げることはできないかと考え、思い浮かんだのは「トレイルランニング」でした。現在は、実行委員長として大会を先導しています。</p>
<p>質問2* (200文字以内)</p>	<p>この活動を通してどのような未来を実現したいと思っていますか(ビジョン)</p> <p>日光は、世界文化遺産もあり国内、海外からの観光客が訪れる名高いところですが、訪れる年代層は年々高齢者が多く、若者の人数が伸び悩んでいます。そこで、歴史ある世界文化遺産と日光国立公園を走ることができる大会を作り上げることで若者にも日光の魅力を発信するとともに、地域に新たな価値を生み出し、日光市の魅力を全国、海外に発信し、観光客の増加に繋がればと思っています。今後もより多くの方々に日光の魅力を発信するために、奥日光までコースを伸ばし、世界にも発信できる大会を目指していきたいです。</p>
<p>質問3* (200文字以内)</p>	<p>未来を実現するために今行っている具体的な活動をお答えください(アクション)</p> <p>今年で大会も第5回目を迎えますが、今までのコースは日光霧降高原を中心に40km、17kmのコース設定をしていましたが、今後もより多くの方々に日光の良さを発信するための「地域から世界へ発信するコンテンツ作り」を目標として活動していくことを考え、さらに奥日光の自然を生かし</p>

	<p>中禅寺湖までコースを伸ばす100kmコース案を進めています。2月3日には、日光市役所において「奥日光エリアのコース実現に向けた取り組み」として、日光市、県西環境森林事務所、日光森林管理所、日光自然管理事務所、日光トレイルランニング実行委員による意見交換会を実施しました。</p>
<p>質問4* (200文字以内)</p>	<p>あなたの行っている活動は社会にどのような影響を与えていますか(インパクト)</p> <p>日光の世界遺産や国立公園内を走るという、文化とスポーツを融合させ両方を満喫できる稀有なスポーツイベントです。文化資源と大自然の組み合わせはインバウンドの訴求力も高くエコツーリズムとして期待されています。また、集客力も高く、地域活性化に大きく貢献しています。このような取り組みを評価いただいて「第7回スポーツ振興賞」では、スポーツ庁長官賞、「スポーツ文化ツーリズムアワード2019」では、スポーツ文化ツーリズム賞をいただきました。</p>
<p>質問5* (200文字以内)</p>	<p>あなたの考えるリーダーシップをお答えください</p> <p>この大会を始めたきっかけが故郷である日光の自然災害からの復興であり、地域に貢献したいという願いが同じ志を持つ仲間が集まり「日光トレイルランニング実行委員会」を立ち上げました。一からの立ち上げには、大変な時間と労力を要しましたが、想いを同じにする仲間、地域住民の協力、世界遺産二社一寺の関係者、地域関係団体の協力を得て運営をしています。振り返ると、リーダーシップとは、地域に貢献したいという志を持って行動し、共感する人々と繋がり、大きな力に変えていくパッションを持つことだと考えています。</p>

■推薦者情報

<p>ブロック名*</p>	<p>栃木ブロック協議会</p>
<p>青年会議所名*</p>	<p>日光青年会議所</p>
<p>担当役職*</p>	<p>10周年準備・全国大会対策委員会委員長</p>
<p>担当者氏名*</p>	<p>倉松 宗道</p>
<p>フリガナ*</p>	<p>クラマツ シュウドウ</p>
<p>推薦理由* (200文字以内)</p>	<p>「2015年9月台風18号の被害を受けた日光・鬼怒川に元気を取り戻したい」と願う地元の皆さんと日光を愛する若者によって立ち上げたトレイルランニングの大会が開催されて今年で第5回を迎えます。日光の世界遺産と日光国立公園を走り抜ける魅力あるコースは、年々参加者の増加に繋がり、新しい日光の魅力を生み出しています。日光トレイルランニング実行委員会のメンバーを中心に大会を作り上げています。一人の若者から始まった取り組みが大きな成果をあげていることは、これからの志のある若者にとって刺激ある事例になると思います。</p>